

土地家屋調査士会

大阪会長に松本充弘氏を選任

近畿ブロック協議会長には丸田元明氏(奈良会)

今年の各土地家屋調査士会定時総会では役員改選が行われ、大阪・滋賀・和歌山の各会長が交代し、近畿ブロック6会で構成する土地家屋調査士会近畿ブロック協議会長には奈良会長の丸田元明氏が就任しました。

土地家屋調査士会役員の任期は2年(重任可)となっているところ、今年が改選期に当たり五月に開催された各会定時総会では正副会長をはじめ役員改選が議題となりました。

大阪土地家屋調査士会は全国初の女性会長として1期2年を務めた横山慶子氏が勇退し、後任会長に元副会長の松本充弘氏を選任したほか、滋賀会長には中村秀紀氏に代わって今井充之氏が、和歌山会では中本信行氏が勇退し、新会長に杉本哲也氏を選任しました。

又、過日開催された土地家屋調査士会近畿ブロック協議会定例総会に於いて2年間近畿ブロック会長を務められた中村秀紀氏に代わって、新しいブロック会長に奈良会長を続投の丸田元明氏が就任されました。任期は2年間。

各会の新しい役員・総会開催日及び場所は次の通り。

大阪会 (5月25日総会・太閤園)

会 長 松本 充弘
副会長 岸田 眞美 中林 邦友
竹本 貞夫 神前 泰幸

京都会 (5月27日総会・京都全日空ホテル)

会 長 信吉 秀起
副会長 大西 淳 木村 正和
上口 武志 池谷 一郎

兵庫会

(5月27日総会・ANAクラウンプラザホテル神戸)

会 長 江本 敏彦
副会長 岸本八太郎 吉本 敏恭
高橋 了

奈良会 (5月25日総会・橿原ロイヤルホテル)

会 長 丸田 元明
副会長 貫渡 利行 貫山 伸一
吉崎 英司 藤村 義朗

滋賀会 (5月27日総会・クサツエストピアホテル)

会 長 今井 充之
副会長 沢 弘幸 中野 正章
太田 昌男 北村 秀実

和歌山会

(5月27日総会・ホテルアバローム紀の国)

会 長 杉本 哲也
副会長 片岡 聖佳 檀浦 武
木下 彰

松岡会長は勇退、名誉会長に

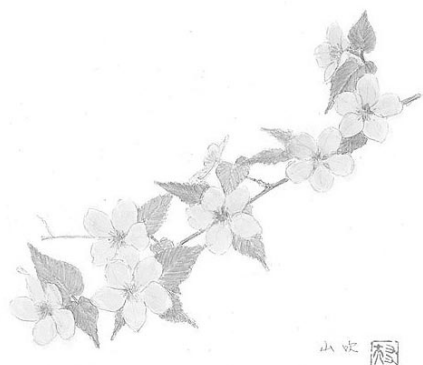
日本土地家屋調査士会連合会 役員改選
志野副会長は続投、真鍋・福岡両氏が新理事に

去る6月21～22日の両日に亘って東京ドームホテルで開催された日本土地家屋調査士会連合会の定時総会でも任期満了に伴う役員改選が行われ、3期6年間に亘って日調連会長職を務められた松岡直武氏（大阪会）は今期限りで勇退され、名誉会長に就任した。

新しい日調連会長には東京会所属の竹内八十二氏が就任。

又副会長には現職の志野忠司氏（奈良会所属）が当選・続投することとなったほか、近畿ブロック協議会から推薦の真鍋 健（大阪会）、福岡正隆（兵庫会）の両氏が理事に、前滋賀会長の中村秀紀氏が監事にそれぞれ選任されました。

Column



（提供：豊田氏）

ヤマブキ

ヤマブキ（山吹、学名: *Kerria japonica*）は、私の好きな花の一つで、4月初めから5月にかけてのスケッチの対象となっている。

花は一重のものと八重のものがあり、八重咲きは、よく栽培されているが、私は一重のものが好きだ。一重の花弁は5枚である。

子供の頃、篠竹で作った紙鉄砲の玉は、ぬらした新聞紙をちぎったものか山吹の茎の髓だった。山吹の髓は、発泡スチロールと同じ感覚だ。白くて弾力性があり、簡単に引きちぎることが出来る。篠竹（鉄砲）と山吹（玉）のサイズが合えば、ご機嫌だった。

もう40年以上見たことも、もちろん作ったこともないが、今でも作った感覚は映像を見るごとく思い起こせるから、子供の頃の記憶は別物だ。

全国測量設計業協会連合会

近畿地区協議会 活動報告

定例会

(1) 平成22年度第4回

- ①日 時 平成23年2月17日(木)
14:00～16:00
- ②場 所 (社)京都府測量設計業協会会議室
- ③議 題
(ア)全測連報告について
(イ)平成22年度決算(素案)、
平成23年度予算(素案)
(ウ)当面の課題

(2) 平成23年度第1回

- ①日 時 平成23年5月25日(水)
15:00～16:00
- ②場 所 生田神社会館
- ③議 題
(ア)全測連報告について
(イ)平成22年度事業報告及び
決算の承認について
(ウ)平成23年度事業計画及び
予算の決定について

総合調整委員会

- (1)日 時 平成23年5月25日(水)
15:00～16:00
- (2)場 所 生田神社会館
- (3)議 題
①災害単価の積算について

Column



(提供:豊田氏)

菜の花

菜の花は菜花とも言うが、小松菜、チンゲンサイ、白菜、カラシナ等々あり、春先にトウ立ちしたアブラナ科野菜のつぼみのことを言う。

菜の花は、ふだんの葉を食べているときとはまた違ううまさがあり、特にタカナ類は、ちょっと辛みがあり実にうまい。

水彩スケッチにする菜の花は、冬の間に畑で食べ残しとなったものであり、その絵のほとんどは、3月いっぱい退職となる先輩方に押しつけのプレゼントとしている。食べ残しと先輩を引っかけているつもりはない。